

**こんなときはどうする？
困ったチャートパターン集**



こんなときはどうする？ 困ったチャートパターン集

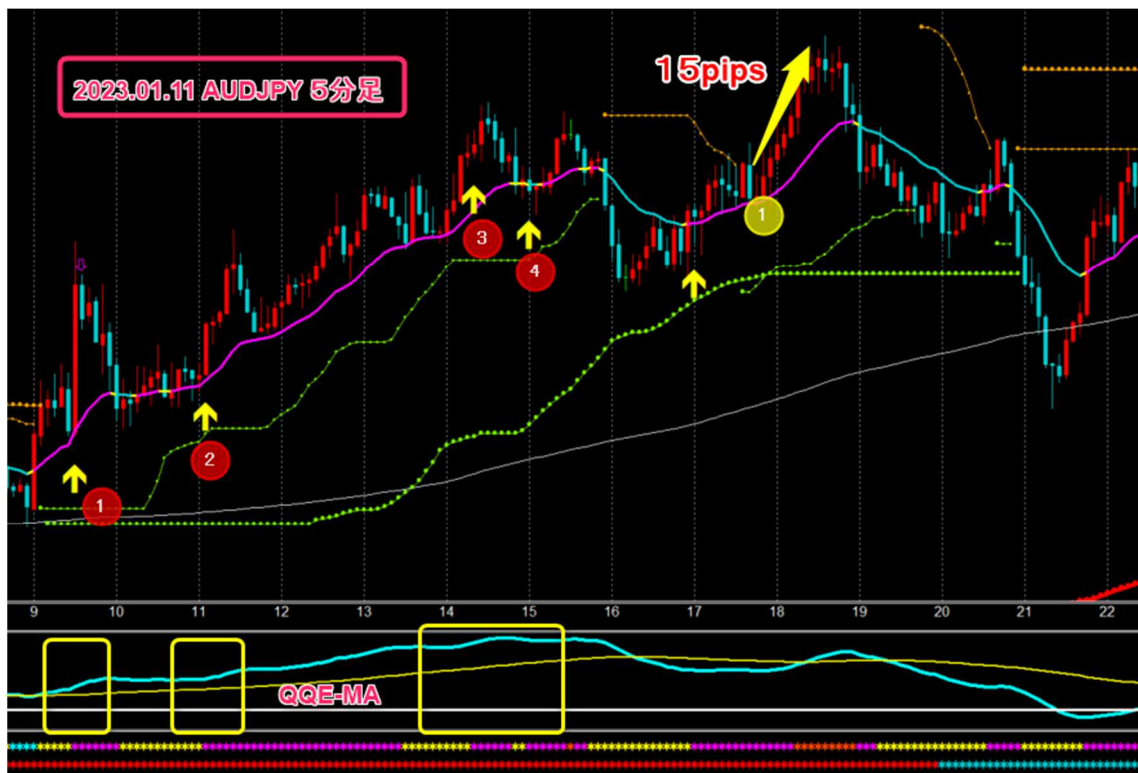
鉄板パターン集であげたチャートのようにいつもきれいに動いてくれれば問題はないのですが、「相場は生き物」と言われるように時としてランダムな動きを見せることがあります。ときには嵐のような状態になることもないわけではありません。

とはいえ、そんな場面をなるべくさけるために BB ストップなどいくつかのフィルターを設置しています。

ここでは、思うような動きにならなかったチャートの事例を 15 あげますので、対処法を身につけてください、

※チャート画像には 20 MA を表示し、それで説明していますが、これはみなさんがふだん使っている MA で検証してみてください。

(1) いろんな要素が盛りだくさん



1 飛び乗り禁止

この日はまず朝方から動きがみられます。

何 pips 動いているのかははっきりわからないのですが、午前 10 時ごろに最初のサイン①（赤丸）が点灯しています。

黄色い矢印サインがでているろうそく足では 1 本でかなり急騰し、移動平均線からもかなり離れているので、移動平均線まで戻ってくる可能性大です。

絶対に飛び乗りはしないでください。

また、「どうせ上がるのだったら、ここで買っても、どうせここを上を抜けていくのだから大丈夫だろう」という考えもご法度です。

押し目を待ってください、移動平均線（チャート画像では 20 MA）まで戻ってくるのを待ってください。

2 若い相場だけを狙え！

赤丸数字は①から④まであります。

エントリーできるのは、押し目をまったときの①と、移動平均線から離れかけたときの②だけです。

③や④ではひと相場、すでに終わっています。

この③や④では多くの人が利確するところです。

決してエントリーできるところではありません。

3 直近高値を越えていない。

午後 5 時過ぎ、黄色い矢印サインが点灯しました。

しかし、ここでのエントリーは要注意です。

まず直近高値を越えていないため、そこで止められる恐れがあります。
その高値まで30 pips あるというような場合は、そこまでを狙うこともできますが
このチャートの場合、午後2時すぎのチャートまでおそらく10 pips 程度ではないでしょうか。

スプレッドを考えると、仮にうまくいったとしてもほとんど利益にならないので、ここでは
エントリーしないのが無難です。

しかし、「わかつちやいるけどやめられない」のがFX。
最大15 pips くらい伸びていますが、その後、下落して移動平均線を割ったあたりでは決済してください。

絶対に1時間も2時間も含み損を抱えて、損を大きく育てないでくださいね。

4 QQE-MAの水色ラインが白色の水平線（50ライン）から離れているときは注意。

赤丸③や④の時点で、QQE-MAの水色ラインはすでに50ラインからかなり離れています。
これは相場が終わりに近づいていることを表しています。

黄色い矢印サイン①が点灯した場面でも、QQE-MAの水色ラインは50ラインからかなり
離れたところでゴールデンクロスしています。

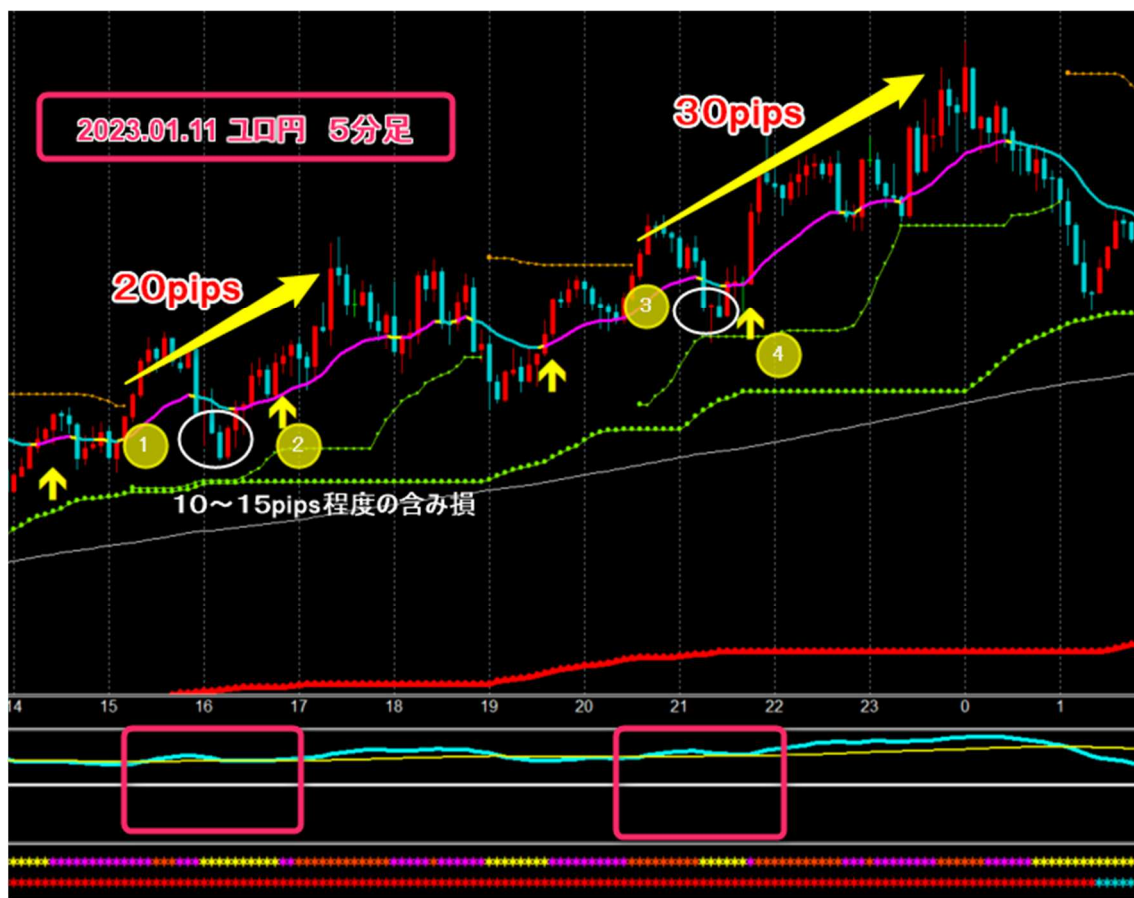
「鉄板パターン」の条件を思い出してください。

QQE-MAの水色ラインが50ラインをぬける。

というのがありました。

50ラインから離れたところでのエントリーは勝率が下がります。

(2) 損切ルールを明確に



黄丸①や③でエントリーします。

ところがこの日はそこからすぐには上昇できず、いったん下落し、20 MA を割っています。おそらく10～15 pips 程度の含み損を抱えることになるでしょうが、私だったら20 MA を割って2回目の陰線がでた時点で損切すると思います。それが私の損切ルールなので。

なかには「損切は20 pips」というように pips 数で損切りルールを決めている人もいるでしょうね。

あるいは「前回安値の少し下」というようなダウ理論にもとづいたルールを作っている人もいるかもしれません。

「損切は20 pips」や「前回安値の少し下」というルールの人は、ここでは損切になってい

ないでしょうが、私のように「20MAを割ってすぐに戻れないときは損切り」というルールの場合は、残念ながら15 pips 程度の損切になると思います。

しかし、エントリーチャンスは②や④があるので、私だったらここでエントリーしてまずは損切り分を取り返します。

(3) 通貨ペアの強弱に大きな開きなし



チャートはどんなときに大きく動くか。

それはもちろんエントリーした通貨ペアの強弱に大きな開きがあるときです。

たとえばドル円をロングした場合、通貨の強弱は

ドル＞ユーロ＞ポンド＞カナダドル＞オージー＞円

というように、ドルが最強、円が最弱であれば、相場は大きく上昇するでしょう。

しかし、上記のチャート画像（ユーロドル）のように、大きく上昇もしない、下落もしないという場合は、通貨の強弱にあまり大きな開きがないのです。

チャートの形から矢印サイン①や②でエントリーするのはまちがいでありません。

矢印サイン①なんかは鉄板パターンです。

しかし、思うように伸びないこともあります。

それはだれが悪いのでもありません。

強弱に差がなかったから同じようなところで上下しているだけです。

(強いていえば伸びなかったチャートが悪い！)

思うように伸びなかったらさっさと見切って、決済をしましょう。

(4) 想定外の動きになったときの損切りはなるべく早めに



矢印サイン①は鉄板パターンですが、上にも書いたように相場が悪く伸びないときがあります。

午後5時半くらいにロングエントリーしたものの、ろうそく足4本に陰線がでて、20MA付近までもどってきました、

ここまでは想定済みです、

その後、陽線2本で前回高値をわずかに抜けました。

これも想定済み、というか期待通りです。

ところが問題はそのあとの動きです。

ここからは少しくらいは調整しながらも上値を切り上げていくことを期待しているのですが、そんな動きにはなっていません。

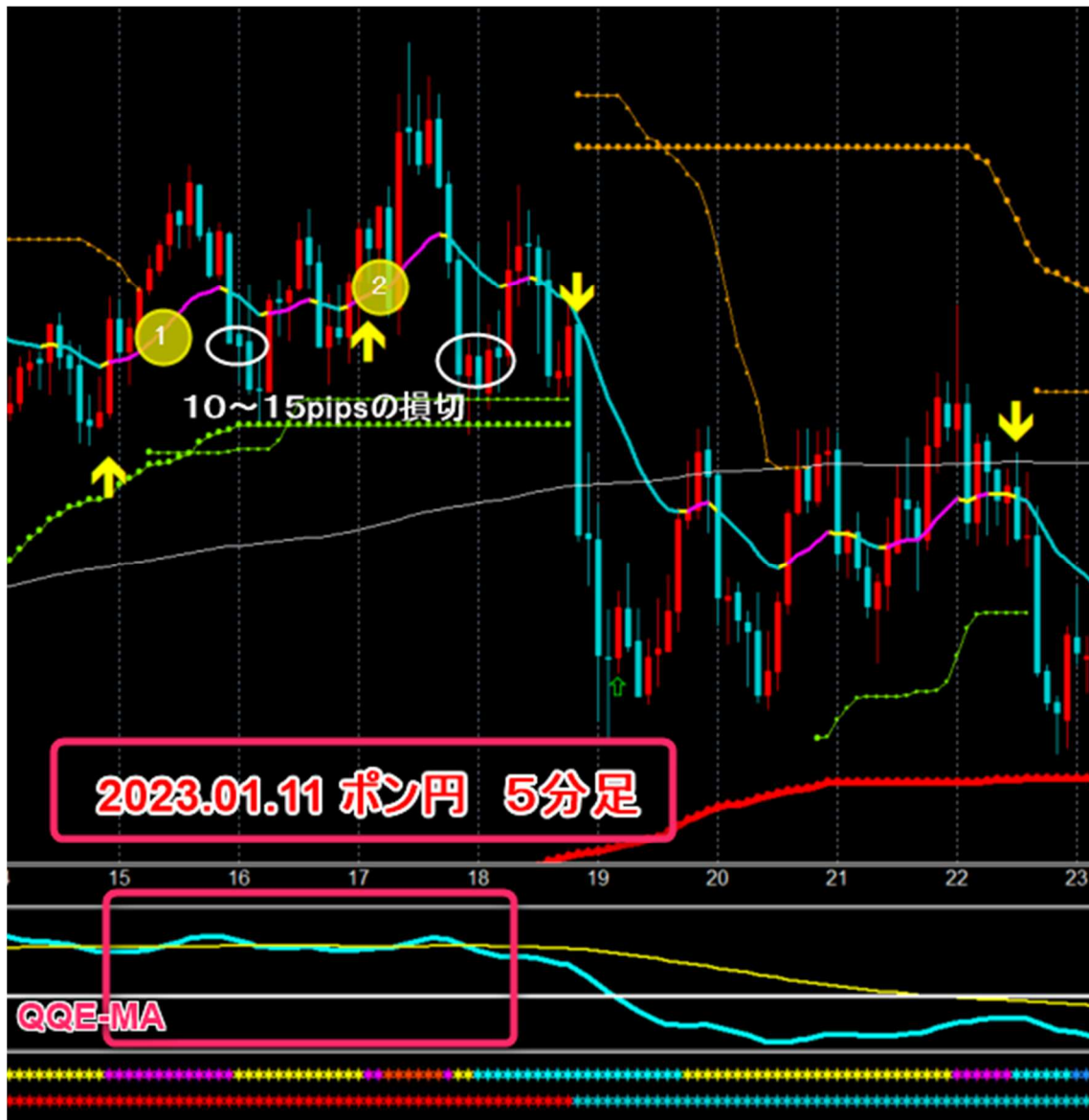
陰線5本で20MAにぶつかってしまいました。

ここから反発かと思いきや、小さな陽線1本をはさんでまた陰線、今度は20MAを割ってきました。

ここまで様子がおかしいといったんは決済すべきです。

もっとうまい人は動き方がおかしいと早く察してさっさと決済するでしょうね。

(5) 含み損を大きく育てるな！



このチャートは助からなかった例です。

黄丸①や②でエントリーします。
しかし、思うように伸びません。

この場合は、QQE-MA が白色の水平線（50ライン）よりかなり上にあるので、伸びないことも想定していないといけませんが、伸びなかったときは、含み損を大きく肥やすこ

とはせず、スリムなうちにさっさと見切ってしまいましょう。

このチャートでは、私だったら白いマルで囲んだあたりで損切りします。

10～15 pips の損切です。

そもそも QQE-MA が白色の水平線（50ライン）よりかなり上にあるのだから、エントリーは見送るというのが一番賢明な選択なのですが。

(6) 東京時間はパワーがないことも。



黄丸①はエントリー直後こそ下落の気配を漂わせていますが、20 MA を上に抜けたあと、下げないところで異変を感じ、私だったら損切をします。

これが下げなかった理由は二つ考えられ、1つは QQE-MA がすでに白色の水平線（50ライン）からかなり離れている状態であること。

かつ、すでに水色ラインが黄色ラインの下にあり、デッドクロスもしていないというところから、そもそもエントリー自体に不安があります。

さらには、この時間は午後1時、東京時間です。

東京時間がすべて伸びないわけではないのですが、やはり欧州や NY にくらべてパワー不足であることは否めません。

もし伸びたとしても爪を伸ばさないことも大切です。

矢印サイン②では、下に 5 分足の BB ストップも、15 分足の BB ストップもあるのでここではエントリーできません。

エントリーできるのは、③ですね。
ここでは前回安値も割っているので期待が持てます。

かつ時間もロンドン時間が始まっているので下落パワーにも期待ができます。
いったん 35 pips 下げた後、少し時間的な調整もして、その後はずるずると下がっていますね。

これで、①でエントリーして、損切になった人も取り返すことができます。

(7) 直近高値に水平線を引こう。



このチャートでは、これまでと違い、午前8時ごろからとなっています。
その理由は、午前9時ごろにこの日の高値をつけ、その後はそこを抜くことができていないためです。

もちろん午前10時ごろに5分足のBBストップが上でフタをするような形となり、
午前11時頃には15分足のBBストップも上でフタをしているので、ずっとエントリー対象にはならないのですが、午後5時頃でしょうか、15分足のBBストップも抜け、黄色い矢印サイン①が点灯しています。

ここでロングエントリーとなるわけですが、やはり気になるのが午前9時の高値です。

チャート画像では白い水平ラインを引いておきました・
これを超えないことにはなかなかロングエントリーはしにくいところです。

もしその手前で午後5時ぐらいにエントリーしたとしても この水平ラインで止められる可能性があります。

したがって、ここはQQE-MAなどを見ると絶好の鉄板パターンなのですが何と言っても

上に水平ラインがあるのでエントリーしにくいところです。

このチャートでもやはりそのように水平ラインまで届かず、下落が始まっています。

このように直近の高値安値には必ず水平ラインを引いておいて、そこを抜けてからエントリーということを心がけましょう。

(8) 直近安値に水平線を引こう。



まずエントリーサイン①は鉄板パターンに近い形となっています。

ただ QQE-MA が 50 ラインを上から下に抜けたわけではなく、もうすでに下にある段階からデッドクロスとなっています。

50 ラインを上から下に抜けたという鉄板パターンの条件は満たしていませんが、このデッドクロスだけでも効果的です。

これはエントリーしやすいのではないのでしょうか。

この①では約 80 pips の下落を見せていますので楽勝だったと思います。

次にエントリーサイン②と③ですけれども、これはその前の(7)のチャート画像と同じで、(7)はロング(上昇)でしたけれども、この場合はショート(下落)の例となっています。

最初に 80 pips 下落した時の安値に白い水平線を引いてますが、エントリーサイン②では、それをまだ下に抜けていません。

しかもサブウィンドウの QQE-MA を見てください。

水色のラインがまだ上昇しています。

そういういろんな点からここでもショートエントリーはできません。

次に③を見てください。

ここでは前回安値の白い水平ラインを下に抜けました。

ここはエントリーチャンスです。

そして、チャート画像にある通り 70pips の下落を見せています。

このように直近安値高値の水平ライン、これを重視しましょう

(9) 長い時間足の BB ストップが最後にそろったときはエントリーしない。



これはゴールドのチャートですが、まずエントリーサイン①では、鉄板パターンでロングエントリーチャンスです。

最大 65 pips 伸びているようですね。

それから 3 時間ぐらいでしょうか、調整を挟んでわずかにそこから 20 pips ほど上昇しています。

次にエントリーサイン②についてですが、ここはエントリーしにくいところです。

なぜならまず QQE-MA がもうすでに上の方にあり、50 のミドルラインに近いわけでも、ゴールデンクロスをここでしたわけでもありません。

また午後 2 時ぐらいからの最初の上昇、これで 65 pips ほど伸びたわけですが、この高値を未だにこの段階では越えていません。

ですからエントリーは非常にしにくいところです。

もちろんここで抜けていくだろう予想のもとにエントリーするのは構わないのですが、ただその時はもしダメだった場合は素早く逃げということを心がけないといけません。

そして午後8時過ぎでしょうか下落が始まります。

まず最初の下落サイン③ですけれども、下向き矢印が4つ出ています。

しかしここは1時間足のBBストップがまだ下にあり、上目線は変わらないためショートエントリーはしません。

ここでショートエントリーすると2時間ほど上に行ったり下に行ったりでやきもきさせられることになると思います。

そして④でようやく1時間足のBBストップを下に抜けてくるわけですが、この1時間足のBBストップが上下入れ替わり、下に抜けたというのはちょっと曲者でして、これより下に下がらないことがままあります。

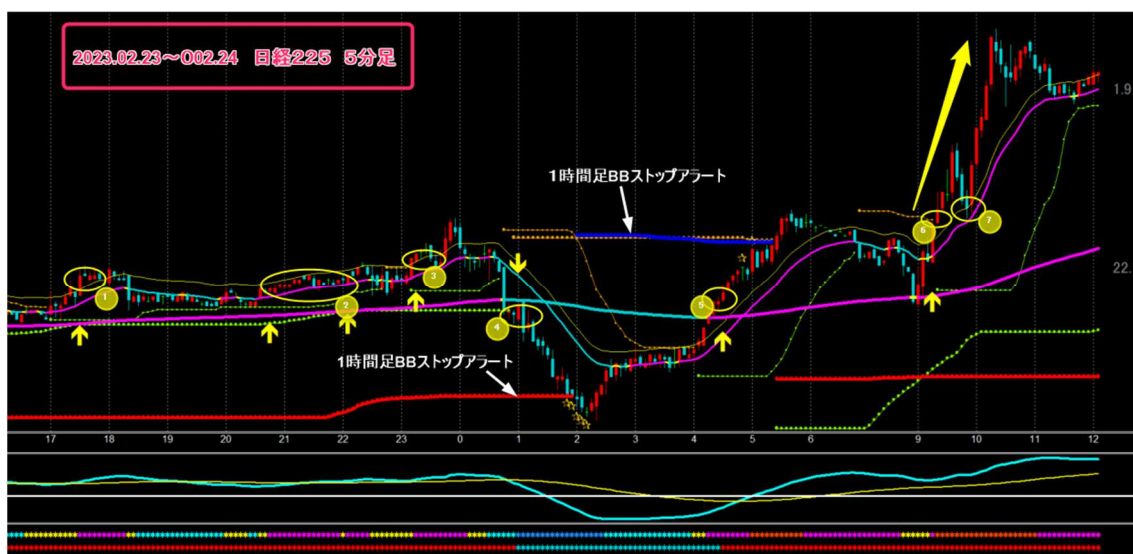
つまりこの辺りが今日の一番安値になるわけですが、思えばサイン②で上昇した後、この高値からずっとこの安値まで下げてきたわけですね。

飛行機でいうとずっと降りてきて地上にランディングしたようなものです。
なのにそこからさらに下落を狙うというのはちょっと難しい面があります。

もちろん1時間足のBBストップを下に抜けてさらにそこから下へと下落していくというものはあるのですが、ここがいったいいっぱいになることも多いように思います。

なので私は長い時間足のBBストップの方向に短い時間足のBBストップが揃ったときをエントリーチャンスと見ており、その逆に短い足の方向に長期の足が揃ったというときにはエントリーしないようにしています。

(10) 伸びなかったら仕方がない。いったん損切も。日経225の例。



FX サインツール「クワトロアルファ」は通常の通貨ペアはもちろんのこと、ゴールドやダウ、NASDAQ、日経225でも通用します。

ここでは日経225を取りあげてみました。

午後5時ごろから翌日正午ごろまでのチャートで、けっこう長い時間をとっていますが、実際に利益が取れるように動いたのは、翌日午前9時ごろからの上昇1回だけです。

このチャートには①～⑦までエントリーサインがでていますが、①では欧州時間が始まっているのでエントリーしてもいいでしょうね。

ただ、この時は伸びませんでした。

20円ほど下で長い時間推移しているので、いったんは手じまいしてもいいかもしれません。

私だったら含み損を長時間抱えるのは耐えられないので損切りします。

このように伸びるか伸びないかは時の運ですから、伸びなかったら仕方ありません。損を大きくさえしなければ次のトレードでいくらでも取り返せます。

ここで20円の損切をしても、⑦では200円上昇しています。
10倍返しですね。

②でもエントリーしていいでしょうね。
このときは50～70円の上昇です。

しかし、このときも大きく伸びたとはいえません。

そこで③でもエントリー。
一時伸びたものの、すぐに反落していますね。
建値決済以上だったら御の字です。

④は、1時間足のBBストップアラートが下に控えているので、ここでエントリーしたとしても、このBBストップアラートまでが目標になります。

ルールを厳格に守るなら、ここはノーエントリーです。
3本のBBストップアラートの方向がそろってからがエントリータイミングですから。

⑤も④と同じです。
ルールを厳格に守るならノーエントリー。
エントリーしたとしても1時間足BBストップアラートまでが目標となります。

⑥は東京時間が始まってすぐなのでエントリーすべきでしょうね。
ただ、MAから少し離れているので、エンベロープの内側まで戻ってくるのを待つという手もあります。

あるいは⑥でエントリーできなかった人は、⑦でエントリーすればいいですね。

このように「クワトロアルファ」のサインで小さな損切をすることもあります。結果的には損小利大になって利益は残るはずですよ。

くれぐれも含み損を膨らませるようなことはしないでくださいね。